

2011年6月20日

全国大学国語教育学会

2011年度 学会通信 第1号

全国大学国語教育学会事務局

理事長 塚田泰彦

入梅の候、学会員の皆様にはご健勝のことと存じます。

先日開催されました第120回京都大会は、大会事務局のご尽力と学会員皆様のご協力のお陰をもちまして、盛会のうちに終えることができましたこと、改めて感謝申し上げます。

新事務局も、やっと本格的に歩み始めました。前事務局同様、学会員の皆様のご協力・ご支援を得て、学会の発展に寄与して参りたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

◆第120回京都大会 2011年度第1回総会議事録

全国大学国語教育学会事務局

日時 2011年5月28日14:10～15:00

会場 京都教育大学F棟2階大講義室2

進行 鶴田清司氏（都留文科大）

0. 1 議長選出 総会議長として、村井万里子氏（鳴門教育大）が選出された。
- 2 新事務局挨拶 塚田泰彦理事長（筑波大）より挨拶と事務局の体制について説明があった。
- 3 京都大会開催状況等について 植山俊宏氏（京都教育大）より、事前申し込み286名および当日申し込み220名の合計406名の受付があった、との説明がなされた。

I. 議事

1. 2010年度事業報告

2. 2010年度会計報告・監査報告

甲斐雄一郎事務局長（筑波大）より、資料に基づき事業および会計報告がなされた。なお、上谷順三郎氏（鹿児島大）、笠井正信氏（東京学芸大附属世田谷中）により会計監査を受けた結果、適正だったことも報告された。

3. 2011年度事業計画

4. 2011年度予算

甲斐事務局長より、資料に基づき事業計画および予算案の説明がなされた。なお、今後の予算案については、「事務運営費」の中に「事務補助員人件費」を入れること、および「慶弔費」を削除することが提案された。

5. 今後の学会開催について

2011年 秋121回・高知

2012年 春122回・筑波、秋123回・富山

2013年 春124回・弘前、秋125回・広島

次回開催校の渡邊春美氏（高知大）より準備状況の説明が以下のようなになった。

日程：2011年10月29（土）・30（日）

会場：高知大学

次々回開催校の塚田泰彦氏（筑波大学）より開催日程の報告がなされた。

日程：2012年5月26（土）・27（日）

会場：筑波大学（筑波キャンパス）

6. 『国語科教育』第70集編集状況等について

編集委員長の高木まさき氏（横浜国立大）より以下のような報告がなされた。

- ・副編集長選出の結果、府川源一郎氏（横浜国立大）が選ばれた。
- ・投稿本数42編であったが、非会員から1編の投稿があったため最終的には41編の応募となった。内訳は研究論文29編、実践論文7編、資料1編、区分けなし4編であった。
- ・採択は、修正採択も含めて、14編の予定（採択率は従来並）。
- ・第70、71集の中から優秀論文を選び表彰の予定。
- ・書評は6編掲載予定
- ・今大会のパネルディスカッション等を掲載予定。
- ・研究、実践、資料の定義について、第71集前後に目安を示したい。最終的な判断は編集委員会にお任せいただきたい。

なお、投稿者に対し、以下のような注意喚起があった。

- ・著作権に関すること、特に画像について、留意してほしい。
- ・論文の二重投稿について注意してほしい。その規定などいずれ詰めたい。

7. その他

事前申し込みがない場合の公開講座への参加可能性について、会場等の都合により当日申し込みが認められることもあること、今回は可能であることが確認された。

II. 報告

1. 研究部門から

研究部門担当の小川雅子氏（山形大）より以下のような報告がなされた。

- ・今大会での企画の実施状況について報告。
- ・高知大会の企画についての計画状況を報告。高知大会の公開講座は「説明文教材の研究方法」。
- ・課題研究の成果（課題研究2冊目の本）出版については、出版社と今後の話を詰めているところである。

2. 広報部門から

理事長の塚田泰彦氏（筑波大）より以下のような報告がなされた。

- ・2005年以降の広報部門の体制と成果について説明。
- ・今後のホームページ業務委託やシステム拡張については、事務局で検討してから、広報部門の新しい体制を作っていくたい。

3. 『国語科教育学研究の成果と展望』第2版の刊行について

編集代表の望月善次氏（盛岡大）より、現在の編集状況について報告があった。

4. 全国大学国語教育学会賞について

有澤俊太郎氏（上越教育大）より以下のような報告があった。

- ・全国大学国語教育学会賞に関する規程の確認がなされた。
- ・実施については、第70、71集から選考を行うことが報告された。

5. その他

なし。

以上

◆第121回 高知大会のご案内（第1次）

高知大会実行委員長・渡邊春美（高知大学）

■第121回大会は、2011年10月29日（土）、30日（日）に高知大学キャンパス（高知市曙町2-5-1）にて行われます（編集委員会、常任理事会は、前日の10月28日（金）高知共済会館コミュニティスクエアにて行います）。

■学会参加については、事前申し込みとなります。

（JTB高知支店より、参加申込書等が学会員に郵送されます。）

■大会2日間の概要（予定）

会場：高知大学 共通教育棟2号館、3号館

<第1日目 10月29日（土）>

午 前：自由研究発表

昼：理事会

午 後：総会

パネルディスカッション

テーマ「伝統的な言語文化の学習指導を考える

—国文学・漢文学・日本語学研究の立場から—」

懇親会（大学会館食堂）

<第2日目 10月30日（日）>

午 前：課題研究発表

テーマ「『メディア』から国語教育の研究と実践を展望する（3）」

午 後：自由研究発表

公開講座

テーマ「説明文教材の研究（1）」（自由研究発表との同時開催）

◆第121回 高知大会・自由研究発表者の募集について

高知大会実行委員長・渡邊春美（高知大学）

1. 募集区分

自由研究発表

2. 発表等の申し込み手順

（1）往復はがき（往信面）に次の事項をご記入の上、申し込んでください。

①発表区分 自由研究発表

②発表題目（申し込み後の変更は不可）

③氏名（ふりがなを必ずつける）

④所属（職名、電話番号、メールアドレス）

⑤住所、電話番号、緊急時連絡先（携帯電話）

⑥プロジェクタ使用（プロジェクタ使用者は、必ず記入して申し出てください。パソコンは発表者持ち込みとなります。プロジェクタは大学備えつけを使用できますが、パソコ

ンとの相性がありますので発表者が持ち込むことも可とします。なお、準備時間も発表時間に含みます。)

*返信はがき(おもて)には、自分宛の郵便番号、住所、氏名を必ず記入して下さい。

(2) 申し込み先(高知大会事務局)

〒780-8072 高知市曙町2-5-1

高知大学教育学部 国語教育 北 吉郎 研究室宛

(3) 発表申し込み締め切り

7月29日(金) 必着

*締め切り後は受け付けません。また、発表日のご指定もご遠慮ください。

(4) 発表要旨集の原稿締め切り

8月26日(金) 必着

*締め切り後のものについては要旨集が白紙となります。

(5) 大会全般についての問い合わせ先

(できるだけメールにてお問い合わせください。)

渡邊春美(研究室)

TEL&FAX: 088(844)8440

メール: h.watanabe@kochi-u.ac.jp

北 吉郎(研究室)

TEL&FAX: 088(844)8382

メール: kkita@kochi-u.ac.jp

◆公開講座開催のご案内

研究部門: 小川雅子(山形大学)

■第121回高知大会にあわせて、下記の要領で第7回公開講座を開催いたします。会員、非会員を問わず参加が可能です。奮ってご参加ください。

■第7回公開講座(予定)

1 テーマ 説明文教材の研究(1) 教材研究

2 登壇者

- ・コーディネーター 植山俊宏(京都教育大学)
- ・指定討論者 小川孝司(大元小学校校長)
- 佐藤明宏(香川大学)
- 長崎秀昭(弘前大学)

3 日時 2011年10月30日(日)

4 会場 高知大学

5 参加対象 学会員および参加希望者 ※公開講座のため参加費無料

◆『国語科教育』第71集 投稿募集について

第71集編集委員長 府川源一郎（横浜国立大学）

1. 投稿論文は、2011年8月1日（日）から8月31日（火）（消印有効）までの期間に受け付けます。
2. 原稿の送付先は下記の通りです。
**〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学教育学系
全国大学国語教育学会事務局**
3. 封書にはかならず「投稿原稿在中」と朱書き書留で郵送してください。
4. 原稿は、4部（コピー可）送付してください。
 - （1）そのうちの1部には、題名のあとに氏名を記し、論文の最末尾に（ ）をつけて所属を、行をかえて原稿発送年月日を、それぞれ1行ずつ取って記してください。また、その論文の前に、氏名・所属・連絡先を明記した用紙を添付してください。
 - （2）あとの3部については、氏名・所属等、書き手を特定できる情報は書かないでください。
5. 原稿は、原則としてワープロまたはパソコンで打ち出し、フロッピーを添えて送ってください。その際、フロッピーに機種名・ソフト名を書き添えてください。（例：「一太郎2007」）
6. 原稿は未発表のものに限ります。ただし、口頭発表やプリント類の場合は、この限りではありません。
7. 募集の枠を「研究論文」「実践論文」「資料」の三つとしますので、どの枠に応募したものであるかがわかるように、そのことを題名の前に明記しておいてください。ただし、投稿論文の採択の枠付けについては、編集委員会におまかせください。
8. 図表などの類は、本文の中に含めて計算し、本文内に該当箇所を明示してください。なお、縮小する場合は、読者が判読できないなどということがないように、8割以上の縮小率で収めてください。また、「注」は本文と同じ書式でそろえてください。

- 付記
- （1）紀要のテンプレートが学会ホームページにあります。次のURLのリンク「テンプレート集」から参照してください。 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/nace/>
 - （2）引用文献、参考文献は、原稿末尾に「注」で明記してください。
 - （3）原稿の返却はいたしません。控えをとっておいてください。
 - （4）原稿の郵送は、書留をお願いします。
 - （5）連続掲載は、原則として2回までとなっています。

<参考> 『国語科教育』投稿要領

- 1 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りでない。
- 2 論文原稿は、縦書きまたは横書きで原則としてワープロを使用する。
- 3 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原則として400字詰原稿用紙ほぼ40枚（8ページ分）以内とし、1ページあたりの字数・行数を次のようにする。
 - （1）横書きの場合 23字×44行×2段（1ページ2,024字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。）
 - （2）縦書きの場合 33字×31行×2段（1ページ2,046字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。）

- *引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし、図表についてはこの限りではない。
- 4 論文原稿は4部（複写でよい）送付するものとする。原稿は原則として返却しない。
 - 5 原稿は、氏名、所属、連絡先を付記し、全国大学国語教育学会事務局に送付するものとする。
 - 6 投稿論文は、上期においては8月1日から8月31日までの期間、下期においては3月1日から3月31日までの期間に受け付けるものとする。

◆『国語科教育学研究の成果と展望 II（2010年版）』について

編集代表 望月善次（盛岡大学）

全国大学国語教育学会が学会創立 50 周年記念事業として『国語科教育学研究の成果と展望』（第1集）（明治図書出版、2002）の企画を起こしたのは、平成13年のことでした。「戦前戦後を通じて、実に多くの人々が国語科教育学研究に取り組み、膨大な研究の成果を積み上げてきております。しかしながら、先行研究を踏まえ、それとの関連を明らかにしながら研究を進めるといふ点では、なお不十分であるとの指摘もあります。その一因は、問題意識の希薄さとともに、研究物があまりにも多く、個人の力でその成果と残された課題を十分に整理することが極めて困難であることにあると思われれます。」を趣旨としたものでした。

しかし、『国語科教育学研究の成果と展望』のような試みは、一回性のものとして終結するものではありません。「第2集」以下を続刊してこそ、その意味が全うされるものです。こうした問題意識のもとに2010年度の2回の総会では、その意味を確認し、具体的行動を決定致しました。幸いに執筆依頼した全ての方々から御快諾を戴けました。

学会の総力を結集すると共に、進行状況をできるだけ多くの会員の皆様に知って戴くことも今回の留意点だと考えております。先の京都大会での総会時にその概要について報告させて戴いたことや、次の高知大会では、後に示す各章から1名以上を目安として中間発表的な発表を行おうとしておりますのも、この留意点を具体化しようとする一環です。

具体的な章構成は以下ようになっております。

改めてよろしくお願い申し上げます。

I 国語教育基礎論に関する研究の成果と展望	【担当者】府川源一郎、吉田裕久
II 話すこと・聞くことの学習指導に関する研究の成果と展望	【担当者】甲斐雄一郎、山元悦子
III 書くことの学習指導に関する研究の成果と展望	【担当者】大内善一、菅原稔
IV 読むことの学習指導の成果と展望	【担当者】山元隆春、上谷順三郎
V 日本語基礎事項の学習指導に関する研究の成果と展望	【担当者】大熊徹 中洸正堯
VI メディア教育、リテラシーに関する研究の成果と展望	【担当者】中村敦雄、松山雅子
VII 国語科教師教育に関する研究の成果と展望	【担当者】鶴田清司、望月善次
VIII 国語科教育学研究方法論に関する成果と展望	【担当者】有澤俊太郎、藤森裕治
〔コラム〕 国語科教育学における博士論文	

以上

◆学会事務局からのお知らせ

■ 2011年度のおおよその学会活動予定

- 5月29日（土）・30日（日） 第120回京都大会（京都教育大学）
- 6月末 2011年度「学会通信」第1号発行 会費納入
- 8月 編集委員一部改選
- 8月末 『国語科教育』第71集論文投稿締め切り
- 9月末 2011年度「学会通信」第2号発行
- 9月末 『国語科教育』第70集発行
- 10月29日（土）・30日（日） 第121回高知大会（高知大学）
（10月28日編集委員会・常任理事会 10月29日理事会・総会）
- 1月末 2011年度「学会通信」第3号発行
- 3月末 『国語科教育』第72集論文投稿締め切り
- 3月末 『国語科教育』第71集発行

■学会ホームページについて

本学会のサイトはこれまで国立情報学研究所のサーバを借りるかたちで運営してまいりました（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nace/>）。しかし今年度末までに、このサーバから移設するよう求められております。そこで、京都大会総会での承認を経て、サーバの確保とセットで学会ホームページを委託する業者を選定することとし、6月15日現在2社に絞り込んだところです。

いずれにせよ完全リニューアルまでは2か月ほどかかる見込みです。この間は現行ホームページの運用を続けてまいりますが、ご不便をおかけすることがあるかもしれません。ご容赦願います。

■学会発表および学会誌投稿の資格について

年2回の学会および学会誌刊行は学会活動として行われていますので、自由研究発表への申し込み、および、学会誌への投稿は会員資格を必要とします。入会を希望される方は、入会までに一定の期間を要するため（常任理事会での承認・当該年度の会費納入）、発表申し込みおよび投稿の時期にお気をつけください。また、現会員の皆様におかれましては、会費滞納による会員資格停止の規定がございます点、どうぞご留意ください。

■今年度会費納入のお願い

- ・ 今年度の会費納入に関して、「2010年度学会費納入のお願い」と振替用紙を同封しています。案内に記された「請求金額」を郵便振替にて下記口座宛お振り込みください。
- ・ 6月10日以降に会費を納入いただいているにもかかわらず、会計処理作業の都合で、納入状況にデータが反映されていない方がいらっしゃいます。どうかご容赦ください。また、納入済みで「請求金額」が「0円」の方にも、振り替え用紙を同封しておりますこと、ご了承ください。

- ・ 学会規約にしたがい、学会費未納3年以上の方は、「会員資格を失う」という措置をとらせていただいております（退会扱い）。また、学会誌の発送は、前年度未納の場合、その翌年度より停止いたします。

学会の運営は会費によって支えられています。皆様のご協力をお願いいたします。

＜口座番号＞

郵便振替口座番号 〇 〇 1 1 〇 - 7 - 3 4 6 2 5 9

加入者名 全国大学国語教育学会

◆新入会員のお知らせ（受付順、敬称略）

*個人情報保護のためPDF版では削除してあります。

全国大学国語教育学会事務局

〒305-8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学教育学系

kokugokakyouiku@gmail.com